

ボランティア・市民活動の「連携・協働」を考える

～コロナ禍を乗り越え、楽しく活動を進め、よいよい地域をつくる～

コロナ禍では、人と人が互いに接触する機会を減らすことを求められてきました。ボランティア・市民活動も、活動を制限したり、それまでの活動の方法を見直さざるを得ない状況が続いています。

一方、子どもや子育て世帯の貧困、不登校や学習課題、高齢者・障害者の社会的孤立、外国をルーツとする人々の生活など、社会のさまざまな分野に多くの課題が輻輳して生じています。ボランティア・市民活動は、こうしたなかでも地域の課題を解決するため、一つの分野に留まらない人々や団体が、連携・協働しながら取り組んでいます。

今回の「広がれボランティアの輪」連絡会議勉強会では、ボランティア・市民活動における「連携・協働」とは何か、またコロナ禍での連携・協働の取り組みを学ぶとともに、参加者による情報交換を通じて、ボランティア・市民活動における「連携・協働」のこれからを考えます。



日 時 2022年2月2日(水) 13時30分～16時(2時間30分)

開催方法 オンライン開催(Zoom)

参加対象 ボランティア・市民活動を推進する人々(NPO、中間支援組織、協同組合、教育・青少年団体、ボランティア受入施設・団体、企業・労働組合、社協担当者等)、ボランティア・市民活動に参加している方、連携・協働に関心のある方。

プログラム

◆開会挨拶 上野谷加代子(「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長)

◆基調講演(40分)

「ボランティア・市民活動における連携・協働」 諏訪 徹さん(日本大学文理学部社会福祉学科 教授)

◆事例紹介(各20分・計40分)

(1)阪神・淡路大震災からの30年近いコミュニティづくりと連携・協働

中村順子さん(兵庫県 認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長)

(2)食を通じた多世代型居場所づくりの連携・協働実践

渡邊公子さん(神奈川県 一般社団法人 ふらっとカフェ鎌倉 代表理事)

◆グループ討議(40分)

「連携・協働の取り組みの実際」「どのような連携・協働をめざすか」をテーマに、情報交換を行います。

◆閉会あいさつ 原田正樹(「広がれボランティアの輪」連絡会議 副会長)



申込方法 「広がれボランティアの輪」連絡会議ホームページからお申込みください。

<https://www.hirogare.net/> **広がれボランティア** で検索

「広がれボランティアの輪」連絡会議 事務局

東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター内

電話 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858 Eメール vc00000@shakyo.or.jp

この勉強会は、中央共同募金会「公益信託高橋保蔵記念福祉振興基金」の助成を受けて行います